

## 0.G アドバイザーからのメッセージ



### 「仲間と共に戦う力」そして「諦めない力」

関口 優子 2011年度 物質工学科卒業(現 化学・バイオ工学科)

私は今、東京にある「コールドクター」という企業で働いています。コールドクターは医師を自宅にデリバリーできるサービスで、このコロナ禍に1人でも多くの患者さんの助けになるべく力を尽くしています。

自分自身の力だけではたかが知れていますが、優秀な仲間たちと助け合いながら一生懸命過ごす日々はとても充実しています。そんな私の数少ない強みである「仲間と共に闘する力」「諦めない力」は、紛れもなく母校高専が授けてくれたものです。

在学中は勉強がとても大変でした。高専では1年生から専門性の高い授業があり、及第点の設定は高く、レポート等の課題も多かったので毎日ヒヒヒ言っていた記憶があります。また自由な校風なので、おしゃれが大好きな私は制服を着崩すのも忙しかったし、バンド活動、アルバイト等やりたい事は沢山ありました。それら全てを並行することが辛くて、泣きながらテスト勉強をした夜もありました。

ですがどんな時でも隣には仲間が居ました。彼らは同じように苦しみ、努力する姿を私に見せてくれました。クラスメイトと放課後寄り集まって、先輩より授かりし過去問やレポートをコピーしあい、励まし合って最後までやりきったあの経験が忘れられません。

また先生たちも熱心に指導してくださいり、達成するまで見放さず見守ってくれたことがただただありがとうございました。(とある情報通信の授業で、クラスで唯一赤点をとってしまった私が再試の機会を設けてくださった先生がいました。その再試で学んだ事がなんと今の仕事でも活き続けています。本当に感謝しています。)私はクラスでいつも最下位でしたが、それでも先生たちは諦めないでいてくれたのです。

いまでもあの日々が続いているような感覚があります。あの時頑張っていた自分に恥ずかしい姿を見せることはできません。まだまだ力不足ですが、少しでも先に進めるように、これからも仲間と共に戦っていきたいです。またコールドクターが福島にも進出できるよう、変わらず力を尽くしていきます。



## 男女共同参画・キャリア教育支援室の女子学生支援

### 1. 女子学生に対するキャリア・進路支援

### 2. 女子学生に対する勉学生活支援

### 3. 女子中学生の入学支援

キャリア・コンサルティング実施日／  
毎週水曜日午後1:00～5:00

奥寺 絵里／2級キャリアコンサルティング技能士  
(株)飛馬オープンカレッジいわき校  
[コミュニケーション情報学科3期生(現 ビジネスコミュニケーション学科)／いわき市立玉川中学校]



奥寺絵里さん



発行日／令和4年3月24日

福島工業高等専門学校 / 男女共同参画・キャリア教育支援室発行

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30

URL <https://www.fukushima-nct.ac.jp>



女子中学生のみなさんへ

# NEW START

No.14

未来へ向かって輝く福島高専女子!!



福島工業高等専門学校 / 男女共同参画・キャリア教育支援室

# 未来へ向かって輝く福島高専女子!!

## 国際的に視野を広げ 福島を考える

たかはし ななみ  
高橋 那南

機械システム工学科2年  
(いわき市立平第一中学校出身)



### 新たな出会いと学び

あらかわ るな  
荒川 るな

機械システム工学科3年  
(いわき市立平第一中学校出身)



私は3年次に留学生のお手伝いをするチューターという役割を経験しました。

始めはどんな会話をしてもよいか戸惑いもありましたが、お互いの国の文化や身の回りのことを話すうちに、彼女と過ごす時間が楽しいものとなりました。

そして、彼女と過ごすことで、自分の国をもっと深く知ることの大切さに気づかされました。

高専では専門知識だけでなく、言語や文化も違う留学生と触れ合うことで国際感覚を学ぶこともできます。皆さんもそんな経験をしてみませんか？



▲IAEA総会のサイドイベントの様子



▲WM2021で発表している様子

## ボランティア活動を通して

あべ みなこ  
阿部 実菜子

都市システム工学科4年(いわき市立中央台北中学校出身)



私は、2年生のときに令和元年台風19号により浸水した平窪地区においてボランティア活動を行い、特別表彰を受賞しました。ボランティア活動では、当時私が所属していた学生団体CONNECTのメンバーとクラスの友人と共に被災した住民の方のお手伝いをさせていただきました。ボランティア活動を通して、私は浸水被害が生活に与える影響の大きさや1人では微力でも人が集まることで大きな力となることを実感しました。

日本は災害が多い国です。災害に負けないまちづくりや住民のつながりを目指して勉学に励みたいです。



▲当時のコンビニ内の被害の様子



▲ボランティア活動と共にいた友人の写真

## 学生期間だけの経験を将来に

くまもと さえ  
熊本 咲英

ビジネスコミュニケーション学科5年(桑折町立醸芳中学校出身)



皆さんは進学する=優秀な子のイメージを持っていますか？私は高専卒業後九州大学へ進学しますが、決して優秀ではありませんでした。高専は勉強するだけではなく、ワークショップやコンペなど課外活動にも参加する機会がたくさんあり、私自身学外で多くの経験を積みました。机に向かい知識を得るだけでなく、現実の社会に関心を持ち自分がどう関わるか考えてみてください。自分なんてと思わず、自分が！の意気で学校内外での経験を積んで欲しいと思います。



▲ワークショップでの活動の様子



▲フィールドワークでの活動の様子

## 成長できる場所

ぬまた みおり  
沼田 美織

産業技術システム工学専攻 社会環境システム工学コース1年  
(いわき市立小名浜第二中学校出身)



私は、舗装路面の維持管理に関する研究に取り組んでいます。先生や先輩方、研究室のメンバーに支えてもらい、試行錯誤しながら研究に励んでいます。また日頃から目標を設定し、挑戦することを心がけています。その結果、土木情報学シンポジウムで優秀講演賞を受賞することができました。成長の機会が豊富であることが福島高専の魅力です。今後も挑戦を続け、何事にも全力で取り組むことで、自分の可能性を広げていきたいと思います。



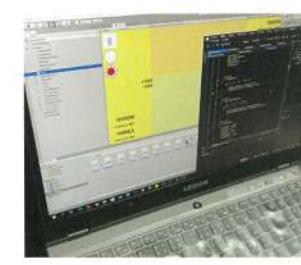
## 猪突猛進

はしもと まゆり  
橋本 まゆり

産業技術システム工学専攻 エネルギーシステム工学コース1年  
(郡山市立御館中学校出身)



私は、再生可能エネルギーの学習教材を作成・活用する研究活動を行っています。一から教材を製作し、子どもたちに向けて授業を行ってきました。どれも高専に来てから初めての経験です。高専は課題や実習が多く、初めての取り組みとの両立はとても難しいものでした。しかし、高専への入学も、研究活動も、自らやりたいと決めたことだからこそ頑張りました。卒業後も、自らやりたいと思う仕事を選び、突き進んでいきたいと考えています。



## 継続することの大切さ

つながわ りこ  
綱川 理子

都市システム工学科4年  
(いわき市立小名浜第一中学校出身)



私は高専で継続することの大切さを学びました。バドミントン部に所属し、今まで続けてきました。最初は学業との両立に不安を感じることもありましたが、強く優しい先輩方と部員、先生方に恵まれ全国高専大会にも出場することができました。高専入学前から続けている習字でも段位を習得することができました。高専生活で得た経験は私にとって大きな強みになっています。みなさんも高専で様々なことに仲間と一緒に挑戦して継続し、自分の強みを増やしてください。

